

令和7年度 第2回足柄高等学校学校運営協議会 会議概要

令和7年11月11日（火）
足柄高等学校 会議室

授業見学

校長挨拶

- ・インクルーシブ教育を推進しつつ、一般生徒への支援も強化していく。
- ・チームティーチング（TT）の活用を特別募集生徒だけでなく、全体に広げるため、来年度に向けてTTの配置科目を再検討し、学習効果の最大化を目指す。
- ・生徒ははじめて素直、指示に従う傾向が強い。職員の責任として、主体性を育成する必要があると感じている。
- ・授業見学を踏まえ、貴重な意見をいただきたい。

協議（1）授業見学に関して

【各委員より】

- ・ディスカッションや協働学習が活発で、生徒の集中度が高く、楽しく飽きずに取り組んでいる。
- ・適度に雑談を交えた進行やテンポの良い授業展開、板書とプロジェクターの併用など指導方法や伝え方に様々な工夫が見られた。
- ・生徒の参画を促す働きかけや演習の取り入れ方など、一方通行ではなく双方向授業の斬新さは評価できる。
- ・丁寧に生徒対応をしていることがわかった。授業で工夫している点について、教員から聞きたい。
- ・廊下ですれ違う際の生徒の挨拶が好印象であった。
- ・TTを生かすために、少人数クラスやレベル別指導の充実を検討してはどうか。
- ・T2の教員の役割が限定的に見えるので、より質問しやすい環境づくりなど、TTそれぞれの垣根を超えて二人で取り組む授業を構築できるのが理想である。
- ・教員同士の授業参観を通して共有や検証が重要である。
- ・今後予定されている電子黒板導入に向けて、教材研究や活用法の研究など、準備を進めてほしい。
- ・空調やプロジェクターなどが整備されており、学習環境が良好であった。

【授業担当教員より】

- ・授業の初めに目標を板書するなどして明示し、学習の見通しを持たせている。
- ・特別募集生徒も含め、次に何をするのかがわかるよう、段階を示している。
- ・T2として授業に入る際は、T1が説明している場面など、関わるタイミングや方法の見極めが難しく感じている。
- ・対話を通じて生徒との関係性を構築するなど、意欲を引き出すようなT2としての関わり方を意識していきたい。

協議（2）学校の教育活動全般に関して 学校評価報告書〈中間報告〉について

各グループより報告

【教務グループ】

- ・令和8年度のカリキュラム編成の検討を進め、11月中に決定予定。

【情報管理グループ】

- ・授業における一人一台端末の活用は定着してきた。
- ・冬休みに電子黒板が全ての普通教室に導入されるので、活用について教務グループとも連携して取り組んでいく。
- ・学校説明会など、中学生向けのいくつかのイベントをすでに終えた。
- ・部活動体験・見学会や学校説明会などでは昨年よりも参加者が多くなっている。新制服も含め広報ができているのではないか。
- ・学校ホームページやXなども、見ていただいた方からの反響がある。

【生徒支援グループ】

- ・多様な生徒の入学により、支援の必要な生徒や欠席がちな生徒が増加している。担任やグループで情報を共有し、適切な対応を行っていく。
- ・自転車ヘルメットについて、交通安全委員会の生徒による啓発活動など行ったが、着用率が低い現状がある。今後も啓発活動を継続して実施する。

【生徒会グループ】

- ・昨年度に比べ新入生の部活動加入率が向上した。学年で統一して担任がプッシュしたことの効果が出ているのではないか。
- ・今年度は、陸上競技部が関東大会、弓道部が関東大会と全国大会、歴史研究部が全国大会に出場を決めた。結果を求めるわけではないが、生徒の頑張りは認めていきたい。
- ・今年も体育祭・文化祭などのイベントでは、生徒会役員をはじめとする生徒と生徒会グループの教員がともに創意工夫を重ねることで、生徒たちは充実感・達成感を得ることができた。

【進路グループ】

- ・2学年では、総合的な探究の時間における探究活動をゼミ形式で実施している。内容的に近いテーマで探究している生徒が集まることで、活発な意見交換ができるようになってきた。
- ・インターンシップに参加した生徒数は延べ人数で100名を超えた。卒業後の進路に対する関心を持たせることができていると思う。
- ・大学等では年内入試などが増加し、方法も多様化している。進路グループから学校全体に情報を発信していく。
- ・個々の生徒が自分の夢に向かって走り、夢を語れるようにしたうえで、その実現のための基礎学力を身に付けさせたい。

【管理運営グループ】

- ・PTA広報誌を活用し、地域への情報発信を工夫して実施している。
- ・帰宅困難生徒対応訓練について、市や自治会と連携して実施する予定であった。悪天候で内容を縮小したものの、市や自治会との連絡確認の場とすることことができた。今後も防災面で地域に貢献できるよう努める。

【副校長】

- ・各種会議のペーパーレス化や、業務アシスタントの活用などを通して働き方改革を進めている。
- ・教室照明の LED 化や動きの鈍いドア交換、テニスコート・弓道場の改修・修繕など、学習環境の改善を進める。
- ・不祥事防止については、本校で決して起こさないことを肝に銘じ、研修を継続して実施していく。

各委員より意見・質問 協議 (○: 委員 ●: 学校)

- TT の科目割り当の検討が今後重要になると思う。方向性は決まっているか。
- TT の配置科目については、上級学校への進学に向けた基礎力向上も見据え、英語・数学に重点的に割り当てる方向で検討している。
- 今日の授業見学では Chromebook 活用の場面が少なかった。活用の具体例を聞きたい。
- Chromebook は教材配信、確認テスト、実験予習などに活用している。国立公文書館のデジタルアーカイブを Chromebook で閲覧する授業もある。
- 小テスト等、キーボード入力が必要なものはスマホではできない。ノートテイクや、生徒間の意見交換などでも使われている。
- キャリアナビでの活用も積極的に行っている。
- 自転車ヘルメット着用啓発は、中学生向けの学校説明会などでも周知する必要がある。また、地域で協働した空きづくりに向けて、着用するのが当たり前になるような細かい取り組みを積み重ねてほしい。
- 道路交通法は今後も改正がある。ビデオを見せるなどの啓発を続けてほしい。
- 探究活動のテーマ設定について具体的に聞きたい。
- 2 学年では、修学旅行に合わせ北海道地域に関するテーマが多いが、その他は、スポーツ、文学、生活系など、それぞれの進路に合わせて設定している。
- 今年は美化デーが雨天中止になったが、夏祭りの軽音楽部出演や帰宅困難生徒対応訓練への参加など、自治会の活動にも協力してもらっている。
- 特に帰宅困難生徒対応訓練では市の防災物品などを確認することができよかったです。
- 歴史研究部の YouTube 動画を見て、身近な学校の生徒が頑張っていることをうれしく思った。
- 様々な教員の業務が属人的にならないよう、担当グループ等で情報を共有し、組織的な取り組みに位置付けていった方がよい。

校長挨拶

- ・地域に期待される学校として発展を目指す。年度末に良い報告ができるよう努力する。

その他連絡事項

- ・第 3 回学校運営協議会は 3 月に予定している。

閉会